

日本天文学会 1993年 春季年会 プログラム

日 時：1993年5月11日(火)～13日(木)

開始時間：11日：10時30分、12・13日：9時20分

場 所：〒229 神奈川県相模原市中央3-13-15, 相模原市民会館(臨時電話：0427-76-1694),
あじさい会館

休憩

15:30-15:50

9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20時

月 日	会場	分 野		分 野	分 野		講 演 数		
5月11日 (火)	A		観測機器・ 情報処理		観測機器・情報処理	観測機器・情報処理	A 1-45		
	B		恒 星		恒 星	恒 星	B 1-45		
	C		星間現象		星 間 現 象	星 間 現 象	C 1-44		
5月12日 (水)	A		観測機器・情報処理	評 議 員 会	観測機器・情報処理	ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン	定 期 総 会	懇 親 会	A 46-78
	B		恒 星		恒星、我々の銀河系、その他				B 46-75
	C		太 陽 系		銀河・銀河団				C 45-75
5月13日 (木)	A		観測機器・情報処理 位置天文、天体力学	理 事 会	宇 宙 論	宇 宙 論	A 79-120		
	B		太 陽		太 陽	太 陽	B 76-124		
	C		銀河・銀河団		銀河・銀河団	銀河・銀河団	C 76-124		

A会場：市民会館ホール B会場：市民会館第一大会議室 C会場：あじさい会館ホール

講演数合計 404 (うち口頭発表 368, ポスター発表 36)

参加費 一般2,500円, 学生1,500円 (非会員：一般3,500円, 学生2,500円)

予稿集配布価格 1,500円

1. 会期は3日間で、3会場併行して行います。第1日目(5月11日(火))は午前10時から、第2・3日目は午前9時20分から開始します。昼食時間以外の休憩は、各日も午後1回ずつとすることにしました。
2. 講演割当時間は7分です。
3. ポスターセッションの発表は、市民会館ロビーで行います。
4. Post-deadline papersは5月10日まで受け付けますが、ポスター発表とさせていただきます。
5. スライドは透視した時に正しい上下関係になるようにして、その手前側上方に講演番号と氏名、映写順の番号を書き、下縁に5mm位の赤線をつけて下さい。ビラは用いず、スライドまたはオーバーヘッドプロジェクターをご利用下さい。
6. ビデオプロジェクター(VHS)をB・C会場に用意しました。
7. 懇親会は第2日目、午後6時30分からあじさい会館で行います。
8. 「天文教育・普及の直面する問題」フォーラムを5月11日午後5時30分より市民会館で行います。
(共催：天文教育普及協会)
9. 公開講演会を5月14日(金)午後6時45分からあじさい会館で開催します。(相模原市共催)
10. 21世紀に向けての天文学長期計画シンポジウムをあじさい会館ホール(会場C)で行います。
日時：5月14日(金)午前10時～午後5時
(主催：天文学研究連絡会)

◎総会予告

5月12日午後4時20分より平成5年度定期総会を開催します。会場は市民会館ホール(A会場)です。

主な内容は、天体発見賞・研究奨励賞の贈呈案、平成4年度会務・会計報告、会計監査報告、平成5年度予算案および新理事承認の件などです。

会場 A (市民会館ホール)

第1日 5月11日(火) 午前10時30分より 会場A

(観測機器・情報処理)

- A 1 X線天文衛星「あすか(飛鳥)」の誕生：井上 一，田中靖郎ほか，あすかチーム(宇宙研ほか)
- A 2 X線天文衛星「あすか」姿勢制御系の性能評価：紀伊恒男，藤本龍一，井上 一，田中靖郎(宇宙研)他「あすか」チーム
- A 3 X線天文衛星「あすか」搭載スターセンサの性能評価：藤本龍一，紀伊恒男，大谷知行，菌部 敬(宇宙研)，吉田篤正(理研)他「あすか」チーム
- A 4 SPIKE and the Dynamic Scheduling Process for ASCA：Alex Antunes¹，Takashi Isobe²，George Clarke²，Fumiaki Nagase¹，Mark Johnston³，and the ASCA team¹(¹ISAS，²MIT，³STScI)
- A 5 「あすか」に搭載した CCD カメラの現状：ジョージ・リッカー(MIT)，満田和久(宇宙研)，常深 博(阪大理)，ほか「あすか」SIS ハードウェアチーム
- A 6 「あすか」搭載 SIS の応答関数：小谷太郎，宇野伸一郎，松葉栄治，藤本龍一，青木貴史，浅井和美，吉田健二，堂谷忠靖，満田和久(宇宙研)，宮田恵美，常深 博(阪大)，G. R. Ricker(MIT)，他あすか SIS チーム
- A 7 「あすか」搭載 X線望遠鏡(XRT)の性能評価(I)：小賀坂康志，内堀康弘，本多博彦，伊藤真之(宇宙研)，津坂佳幸，鈴木久則，山崎 孝，粟木久光，国枝秀世，田原 譲，山下廣順(名大理)，和田幹男，野本 進，宮田恵美，林田 清，常深 博(阪大理)他「あすか」XRT チーム，香村芳樹，石崎欣尚(東大理)，上田佳宏(宇宙研)，他「あすか」GIS チーム
- A 8 「あすか」搭載 X線望遠鏡(XRT)の性能評価(II)：本多博彦，小賀坂康志，内堀康弘，伊藤真之(宇宙研)，津坂佳幸，鈴木久則，山崎 孝，粟木久光，国枝秀世，田原 譲，山下廣順(名大理)他「あすか」XRT チーム
- A 9 「あすか」GISの経過と現状：大橋隆哉(都立大理)，牧島一夫，田代 信，香村芳樹，池辺 靖，石崎欣尚，深沢泰司，松下恭子，金田英宏，中川健一郎(東大理)，上條俊介(富士通)，井上 一，石田 学，村上敏夫，上田佳宏，田中靖郎，小川原嘉明，榎野文命(宇宙研)，海老沢研(GSFC)，三原建弘，竹島敏明(理研)，鶴剛(京大理)，田口孝治，日吉健司，堀井通宏，庄村利一郎，石塚敏夫(明星電気)，池田 斉(日本無線)
- A 10 「あすか」GISのオンボードCPUソフトの開発：鶴 剛(京大物理)，庄村利一郎(明星電気)，石崎欣尚，深沢泰司，金田英宏，牧島一夫(東大物理)，三原建弘(理研)，大橋隆哉(都立大物理)，他GIS チーム

第1日 5月11日(火) 午後1時より 会場A

- A 11 「あすか」GISの位置決め特性とバックグラウンド特性：深沢泰司，香村芳樹，池辺 靖，石崎欣尚，田代 信，牧島一夫(東大理)，鶴 剛(京大)，三原建弘(理研)，大橋隆哉(都立大)，上田佳宏(宇宙研)，他GIS チーム
- A 12 「あすか」GISの絶対測光性能：松下恭子，池辺 靖，石崎欣尚，金田英宏，香村芳樹，田代 信，中川健一郎，深沢泰司，牧島一夫(東大理)，大橋隆哉(都立大理)，石田 学，上田佳宏，小賀坂康志，本多博彦(宇宙研)，三原建弘(理研)ほかGIS，XRT チーム
- A 13 「あすか」GISの検出効率のエネルギー依存性：中川健一郎，牧島一夫，田代 信，香村芳樹，池辺 靖，石崎欣尚，深沢泰司，金田英宏，松下恭子(東大理)，大橋隆哉(都立大理)，井上 一，石田 学，上田佳宏，小賀坂康志，村上敏夫，田中靖郎，本多博彦，松葉栄治，山本康志(宇宙研)，三原建弘，竹島敏明(理研)，鶴剛(京大理)，海老沢研(GSFC)，鈴木久則，津坂佳幸(名大理)
- A 14 「あすか」搭載GISのパルスハイト特性：上田佳宏，井上 一，石田 学(宇宙研)，大橋隆哉(都立大理)，牧島一夫，田代 信，香村芳樹，池辺 靖，石崎欣尚，深沢泰司，中川健一郎，金田英宏，松下恭子(東大理)，三原建弘(理研)，鶴 剛(京大)，ほかGIS チーム
- A 15 「あすか」GISのレスポンス関数：石崎欣尚，深沢泰司，香村芳樹(東大理)，上田佳宏(宇宙研)，三原建弘(理研)，大橋隆哉(都立大)，海老沢研(GSFC)他GIS チーム
- A 16 「あすか」GISのタイミング性能の検証：金田英宏，石崎欣尚，牧島一夫(東大理)，山本泰志，石田 学(宇宙研)，三原建弘(理研)，大橋隆哉(都立大理)ほかGIS チーム
- A 17 「あすか」GISのデータ解析ソフトウェア：三原建弘(理研)，香村芳樹，池辺 靖(東大理)，海老沢 研(GSFC)ほかGIS チーム

- A 18 「あすか」GISの性能と観測の見通し：牧島一夫，田代 信，香村芳樹，池辺 靖，深沢泰司，石崎欣尚，金田英宏，中川健一郎，松下恭子（東大理），大橋隆哉（都立大理），石田 学，井上 一，上田佳宏，小川原嘉明，榎野文命，村上敏夫，田中靖郎（宇宙研），鶴 剛（京大理），三原建弘，竹島敏明（理研），海老沢 研（GSFC），上條俊介（富士通），石塚敏夫，庄村利一郎，田口孝治，日吉健司，堀井通宏（明星電気），池田 斉（日本無線）ほか GIS チーム，XRT チーム
- A 19 高エネルギートランジェント観測実験（HETE）：河合誠之，松岡 勝，吉田篤正，山内 誠，今井 喬（理研），高岸邦夫（宮崎大工）
- A 20 比例計数管出力パルス波形処理による X 線偏光の検出：林田 清，常深 博，三浦規之，田村啓輔，村上裕是，鳥居研一（阪大理）
- A 21 アルミ切削加工による高解像度薄板 X 線望遠鏡の開発：先間康博，田原 譲（名大理），千田治光（オークマ）
- A 22 ドップラートラッキングによる低周波重力波検出実験：小川泰弘，関戸 衛（通信総研鹿島），S. Asmar（JPL），L. Iess（IFSI），G. Comoretto（Arcetri 天文台），B. Bertotti（Pavia 大学）
- A 23 FP 型レーザー干渉計プロトタイプ（V）：大橋正健，藤本真克，山崎利孝，福岡美津広（国立天文台）
- A 24 太陽風観測用新 UHF 電波望遠鏡：三澤浩昭，小島正宜，浅井紀久夫，石田善雄，丸山一夫，吉見直彦（名大太陽地球研），若狭浩昭，柄木田益栄（石川島播磨重工業株式会社），小花利一郎（株式会社 R&K）
- A 25 安価汎用高速並列計算機の開発：稲垣省五（京大理）
- A 26 数値流体力学専用計算機 DREAM-1 A の性能：大野洋介（東大天文），蜂巢 泉，牧野淳一郎，戎崎俊一，杉本大一郎（東大教養）

休 憩

- A 27 すばるの主鏡製作：唐牛 宏，すばるプロジェクト室（国立天文台）
- A 28 すばる望遠鏡データ取得・解析システムの検討 I—ネットワーク・観測手順・データ取得システム—：西原英治，市川伸一（国立天文台），市川 隆，浜部 勝，吉田重臣（木曾観測所），洞口俊博（国立科学博物館），加藤太一（京大理），ほか SDAT メンバー
- A 29 すばる望遠鏡データ取得・解析システムの検討 II—データ解析・データベースシステム—：洞口俊博（国立科学博物館），浜部 勝，市川 隆，吉田重臣（木曾観測所），市川伸一，西原英治（国立天文台），加藤太一（京大理），ほか SDAT メンバー
- A 30 イメージングファブリペロー分光器の開発 I. 計画の概要：大谷 浩，富田良雄，吉川道利，小杉城治，青木賢太郎，佐々木 実*（京大理，*下関市大）
- A 31 アパーチャマスキング法による光開口合成実験：早野 裕（東大理天文），西田 淳（通総研平磯），森田耕一郎，石黒正人（国立天文台野辺山），野口本和，家 正則（国立天文台三鷹），高遠徳尚（理研）
- A 32 すばる望遠鏡周辺の塗料，選択透過膜の分光特性の測定：鳥居泰男，林左絵子，田中 済，宮下暁彦，田中京子（国立天文台）
- A 33 光ファイバーを利用したイメージスライサー：久保宏之，平井正則，小林美知彦，金光 理，宮脇亮介（福岡教育大）
- A 34 大気ゆらぎの outer scale が小さい時の波面誤差：高遠徳尚，山口一郎（理研），家 正則（国立天文台）
- A 35 岡山偏光撮像装置の開発（I）. 装置概要：湯谷正美，清水康広，倉上富夫，佐々木敏由紀（国立天文台岡山）
- A 36 岡山偏光撮像装置の開発（II）. 制御系ハードウェア：清水康広，倉上富夫，佐々木敏由紀，湯谷正美（国立天文台岡山）
- A 37 岡山偏光撮像装置の開発（III）. 制御系ソフトウェア：佐々木敏由紀，湯谷正美，清水康広，倉上富夫（国立天文台岡山）
- A 38 岡山偏光撮像装置の開発（IV）. 性能評価：倉上富夫，佐々木敏由紀，湯谷正美，清水康広（国立天文台岡山），吉田重臣（東大木曾観測所），松村雅文（香川大教育）
- A 39 スペックル分光カメラ 2 号機で得られたデータの解析：桑村 進，馬場直志，三浦則明（北大工），乗本祐慈，磯部琇三（国立天文台）
- A 40 モザイク CCD データ解析ソフトウェア：柏川伸成¹，土居 守¹，関口真木²，安田直樹¹，嶋作一大¹，岡村定矩¹，野沢哲夫¹（¹東大天文，²国立天文台）
- A 41 0 次光を小さくした透過型回折格子：北本俊二，平野 彰，高橋利夫（阪大理）
- A 42 2 次元直交関数フィルター理論—基礎理論とシミュレーション—：佐藤 勲（総研大／国立天文台），吉澤正則（国立天文台）
- A 43 赤外線カメラ（PICNIC）の開発 IV. 制御ソフト：中村京子，小林行泰，和瀬田幸一（天文台），房 耕，峰崎岳夫（東大理・天文台），佐藤修二（名大理）
- A 44 赤外線カメラ（PICNIC）の開発 V. 性能評価：峰崎岳夫，房 耕（東大理・天文台），小林行泰，和瀬田幸一（天文台），佐藤修二（名大理）

- A 45 赤外線カメラ(PICNIC)の開発 VI. 試験観測:小林行泰,和瀬田幸一,中村京子,田村元秀(天文台),房 耕,峰崎岳夫(東大理・天文台),佐藤修二(名大理)

第2日 5月12日(水) 午前9時20分より 会場 A

- A 46 すばる望遠鏡モザイク赤外線カメラの設計:上野宗孝,戎崎俊一,蜂巢 泉,牧野淳一郎(東大教養),大野洋介,和田武彦,柳澤賢史,土居 守(東大理天文),圓谷文明,近田義広(国立天文台),木股雅章(三菱電機 LSI 研究所),市川 隆,青木 勉,征矢野隆夫,樽沢賢一(東大理木曾)
- A 47 木曾観測所における近赤外線撮像観測 II:柳澤賢史(東京学芸大),市川 隆,伊藤信成,樽沢賢一(東大理),上野宗孝(東大教養)
- A 48 広視野赤外線望遠鏡システムの開発:和田武彦(東大理天文),上野宗孝(東大教養)
- A 49 赤外線天文衛星計画(SPIRIT 2000):村上 浩(宇宙研),宇宙研赤外線天文衛星ワーキンググループ
- A 50 スペース用 Ge:Ga 遠赤外検出器の開発:藤原幹生,廣本宣久,板部敏和(通信総研),芝井 広,奥田治之(宇宙研)
- A 51 Si:P 中間赤外線検出器の開発 IV:度會英教,松本敏雄,高橋英則(名大理),村上 浩(宇宙研)
- A 52 中間赤外冷却フェブリペロー分光器の開発:茶園佳代,松原英雄,度會英教,松本敏雄(名大理)
- A 53 中間赤外撮像分光装置(MICS)の開発:田辺俊彦,片坐宏一,尾中 敬(東大理),芝井 広(宇宙研),山下卓也(国立天文台)
- A 54 セシウム原子時計を用いたntpサーバーの試作:福島登志夫,小笠原隆亮,鈴木駿策,松田 浩,久保浩一,大橋正健,山崎利孝(国立天文台),大野浩之*(東工大),鈴木茂哉*(榊フォアチューン),山口 英*(奈良先端科学技術大学院大)*計算機科学者グループ WIDE のメンバー
- A 55 セシウム原子時計を用いたntpサーバーの実験:松田 浩,福島登志夫,小笠原隆亮,鈴木駿策,久保浩一,大橋正健,山崎利孝(国立天文台),大野浩之*(東工大),鈴木茂哉*(榊フォアチューン),山口 英*(奈良先端科学技術大学院大)*計算機科学者グループ WIDE のメンバー
- A 56 電波ヘリオグラフのイベントリストの公開:関口英昭,山口千栄子,花岡庸一郎,篠原徳之,西尾正則,柴崎清登(国立天文台野辺山)
- A 57 CLOSURE RELATION を用いた電波ヘリオグラフ画像の定量的評価:越石英樹(東大理),電波ヘリオグラフグループ(国立天文台野辺山)
- A 58 4m レンズアンテナの開発:豊増伸治(豊橋技科大工),近田義広,浮田信治(NRO),白鳥 裕,越石英樹,半田利弘(東大理),平野尚美(一橋大),山内啓資(東京理大理),逸見政武,藤巻正樹(理研),野田一房(雄島試作)
- A 59 The First Two Dimensional Imaging with the Spatial FFT Interferometer:乙部英一郎,中島潤一,渡辺直企,荒蒔義孝,小林寛美,田中尚樹,齊藤友博,星川知之(早大理工),大師堂経明(早大教育),遊馬邦之(草加高)
- A 60 デジタルレンズ出力と輝度分析:大師堂経明,遊馬邦之,中島潤一,乙部英一郎,渡辺直企,荒蒔義孝,小林寛美,齊藤友博,田中尚樹,星川知之(早大教育,理工,草加高),西掘一彦(ソニー)
- A 61 DSP を用いたパルサーサーベイ用高速 FFT プロセッサユニットの設計:渡辺直企,田中尚樹,中島潤一,乙部英一郎,荒蒔義孝,小林寛美,齊藤友博,星川知之(早大理工),大師堂経明(早大教育),遊馬邦之(草加高),西掘一彦(SONY)
- A 62 可搬型電波シーイングモニターによるチリでの位相ゆらぎの測定:齊藤正雄(東大理),石黒正人,川辺良平(NRO),武井健寿(日本通信機)

第2日 5月12日(水) 午後1時より 会場 A

- A 63 60cm サブミリ波望遠鏡2号機による南天 230 GHz サーベイ計画. II:長谷川哲夫,林 正彦,半田利弘,阪本成一,岡 朋治(東大理),R. Booth(Onsala Space Observatory),P. Shaver(ESO),Å. Nyman(SEST),T. Dame(Harvard-Smithsonian Center for Astrophysics)
- A 64 口径 10m 高能率ミリ波アンテナの開発:石黒正人,神澤富雄,半田一幸,服部邦彦,川邊良平,中島 潔,森田耕一郎,岩下浩幸,高橋敏一,浮田信治,森本雅樹(国立天文台野辺山),榊原 修,宮脇啓造,宮原典夫(三菱電機)
- A 65 電波ホログラフィー法による野辺山 10m 鏡鏡面精度測定(II):服部邦彦,神澤富雄,高橋敏一,森田耕一郎,石黒正人(国立天文台野辺山),森田 徹,石曾根孝之(東洋大工)
- A 66 ETS-V を用いた白田 64m 鏡 1.6 GHz 帯電波ホログラフィ実験:西掘俊幸(上智大理工),平林 久,小林秀行,村田泰宏,山田三男(宇宙研),三浦 龍(通総研),土谷牧夫,島脇 豊(三菱電機),藤沢健太,大嶋由美(東大理)
- A 67 白田 64m アンテナ用 AOS の開発とメーザー試験観測:大嶋由美,平林 久,小林秀行,村田泰宏(宇宙研),西掘俊幸(上智大理工),藤沢健太(東大理)

- A 68 白田アンテナによるオイシイ観測：藤沢健太（東大理），平林 久（宇宙研）
- A 69 水沢 10 m アンテナの概要について：亀谷 收，河野宣之，原 忠徳，久慈清助，佐藤克久，鶴田誠逸，田村良明，岩館健三郎，柴田克典，浅利一善，笹尾哲夫（国立天文台水沢），福崎順洋，安田 茂（東北大理），朝木義晴（電通大電気通信），森本雅樹，川口則幸，宮澤敬輔，宮地竹史（国立天文台野辺山）
- A 70 水沢 10 m アンテナの受信機系：柴田克典，亀谷 收，鶴田誠逸，佐藤克久，河野宣之（国立天文台水沢），宮澤敬輔（国立天文台野辺山），朝木義晴（電通大電気通信），福崎順洋，安田 茂（東北大理）
- A 71 水沢 10 m アンテナの駆動制御系について：原 忠徳，田村良明，久慈清助，浅利一善，亀谷 收，柴田克典，河野宣之，酒井 俐，堀合幸次，岩館健三郎，石川利昭，金子芳久（国立天文台水沢）
- A 72 相対 VLBI 観測用試作月面電波源の特性：佐藤克久，大江昌嗣，河野宣之，花田英夫，久慈清助，岩館健三郎，鶴田誠逸，亀谷 收（国立天文台水沢），水谷 仁，藤村彰夫（宇宙研）
- A 73 MUSES-B 衛星と VSOP 計画の現状：広沢春任，平林 久，西村敏充（宇宙研），森本雅樹（鹿児島大），VSOP チーム
- A 74 VSOP 観測衛星 Muses-B の観測信号系 PM 総合試験：小林秀行，平林 久，村田泰宏，広沢春任，山本善一（宇宙研），川口則幸，井上 允，森本雅樹（国立天文台），中川栄治，富家文穂（NEC）
- A 75 VSOP 国際観測ネットワークの運用システム：村田泰宏，他，VSOP チーム（宇宙研・国立天文台）
- A 76 VSOP 相関器の多彩な能力と応用：平林 久，小林秀行，村田泰宏（宇宙研）
- A 77 鹿児島ミリ波 VLBI 局の創設 (II)：北川隆宏¹，森本雅樹¹，面高俊宏¹，北村良実¹，招 淳也¹，鈴木智也¹，古屋 玲¹，宮崎智行¹，堀江雄二¹，田中 稔¹，川口則幸²，宮澤敬輔²，御子柴 廣²，井上 允²，白鳥裕²，久慈清助³，春日 隆⁴，藤下光身⁵，他（¹鹿児島大，²NRO，³国立天文台水沢，⁴法政大，⁵九州東海大）
- A 78 広帯域 VLBI 観測のための新システムの開発：鈴木智也，招 淳也，面高俊宏，宮崎智行，堀江雄二，森本雅樹（鹿児島大），川口則幸，宮地竹史，御子柴 廣，宮澤敬輔（国立天文台野辺山）

ポスター・ディスカッション（午後 3 時 30 分より 4 時 30 分まで）

第 3 日 5 月 13 日（木） 午前 9 時 20 分より 会場 A

- A 79 RAINBOW 計画：NRO 10 m-45 m 鏡ミリ波干渉計画：川辺良平，浮田信治，石附澄夫，大橋永芳，森田耕一郎，井上 允，川口則幸，中井直正，砂田和良，神沢富雄，奥村幸子，石黒正人（国立天文台野辺山），村田泰宏，小林秀行（宇宙研），半田利弘，林 正彦（東大理）
- A 80 四素子法の実験結果 1：朝木義晴（電通大）他 国立天文台 VLBI グループ，通総研 VLBI グループ，東北大，東大，電通大，九州東海大
- A 81 VLBI による θ -Z 関係の観測：川口則幸（国立天文台野辺山）
- A 82 Design Considerations for Submillimeter SIS Mixers：史 生才，稲谷順司，野口 卓，砂田和良（国立天文台野辺山）
- A 83 1 ミリ波帯ワイヤグリッド偏波素子の製作：河合利秀，小川英夫（名大理）
- A 84 40 GHz チューナレス SIS ミキサーの開発：山口千栄子，G. McCulloch，岩下浩幸，川辺良平，坂本彰弘，浮田信治（NRO），砂田和良（東大理），高羽 浩，岩田隆浩（通総研鹿児島）
- A 85 3 連ミリ波クロスガイドカプラの製作：鈴木和司，坪井 隆，小川英夫（名大理）
- A 86 AOS 方式ミリ秒パルスタイミング観測装置～高速データ取込方式：今江理人，花土ゆう子，関戸 衛（通信総研鹿児島）

（位置天文学）

- A 87 位置星表 ACRS と PPM の系統差：相馬 充（国立天文台）
- A 88 重力レンズ効果と星の質量測定：大西浩次，細川瑞彦（通総研関西），福島登志夫（国立天文台），竹内 峯（東北大理）

（天体力学）

- A 89 環状分布したデータに対する最小自乗法：湯浅 学（近畿大理工総研）
- A 90 剛体の自由回転の数値積分 II：石崎秀晴，福島登志夫（国立天文台）
- A 91 2 自由度調和振動子系の断熱不変量について：古屋奈津美，島田正章，稲垣省五（京大理），吉田春夫（国立天文台）
- A 92 軌道積分における symplectic integrator の有用性について：島田正章，古屋奈津美，稲垣省五（京大理），吉田春夫（国立天文台）
- A 93 専用ハードウェア HARP による微惑星の N 体シミュレーション：井田 茂（東工大理），小久保英一郎，牧野淳一郎（東大教養）

- A 94 冥王星の軌道とリアプノフ指数：中井 宏，木下 宙，吉田春夫（国立天文台）
 A 95 土星衛星の軌道要素改良（1970，71 の衝）：畑中至純（国立天文台）

第3日 5月13日（木） 午後1時より 会場 A

（宇宙論）

- A 96 偽真空崩壊後の量子状態：田中貴浩，佐々木 節（京大理），山本一博（京大基研宇治）
 A 97 量子揺らぎと空間の非一様性：窪谷浩人（京大基研宇治），森川雅博（お茶の水女子大理）
 A 98 一般化された重力理論におけるゲージ不変な宇宙論的密度ゆらぎ：平井俊成，前田恵一（早大理工）
 A 99 面対称時空におけるインフレーションの一般性：真貝寿明，前田恵一（早大理工）
 A 100 実験・観測事実から導いたインフレーションモデル：横山順一（京大基研），村山 斉，鈴木 博，柳田 勉（東北大理）
 A 101 大域的に一様等方な非線形・非一様宇宙モデル：葛西真寿（弘前大理）
 A 102 String-Wall 連結系の進化：長澤倫康（東大理）
 A 103 Perturbations on Thin Shells in General Relativity：坂井伸之，前田恵一（早大理工），牧 琢弥（都立大理）
 A 104 Fates of a collapsing shell with scalar wave emission.：大城直実，中村康二，冨松 彰（名大理）
 A 105 宇宙背景重力波は古典化しているか：中村信一，吉野晃令，小林史歩，細谷暁夫（東工大理）
 A 106 強い非一様性と宇宙背景放射の等方性：森川雅博（お茶の水女子大理）
 A 107 Open Universe での CMB の非等方性の厳密評価：郷田直輝（阪大理），杉山 直（U. C. Berkeley）
 A 108 Fully-ionized CDM モデルでの宇宙背景放射の温度揺らぎ：千葉尚志，杉山 直（東大理）
 A 109 球対称時空における宇宙検閲仮説：小野沢 庸，椎野 克，渡辺一也（東工大理），三島 隆（東大核研）
 A 110 Early Cosmic Formation of Massive Black Holes：梅村雅之（国立天文台），A. Loeb（Harvard），E. L. Turner（Princeton）
 A 111 Reionization of the Universe due to the Early Formation of Massive Black Holes：佐々木 伸（都立大理），梅村雅之（国立天文台）

休 憩

- A 112 QSO Clustering と重力レンズ効果：富田憲二（京大基研）
 A 113 流体計算による銀河形成と暗い銀河の角度相関：山下和之（京大理），吉井 讓（国立天文台）
 A 114 流体シミュレーションにおける Cluster からの X 線の解析：須佐 元，山下和之（京大理）
 A 115 Shapley 超銀河団の X 線観測による Ω_b の決定：牧野伸義（広島大理，京大基研），須藤 靖（京大基研）
 A 116 CDM モデルにおける銀河及び銀河団の速度関数について：上田晴彦（広大理，京大基研），嶋作一大（東大理），須藤 靖（京大基研）
 A 117 銀河の 3 点及び 4 点関数のスケール依存性と階層モデル：松原隆彦（広島大理，京大基研），須藤 靖（京大基研）
 A 118 Sites for cluster formation and origin of cluster-cluster correlation functions：渡辺卓也，松原隆彦，須藤 靖（京大基研）
 A 119 QSO の重元素吸収線系のイオン化状態の進化：傳田紀代美（東大理），池内 了（阪大理）
 A 120 Q 0957+561 による宇宙論パラメータの制限：江本理恵，柴田貴之，柏野雄太，川端 潔（東京理大理）

会場 B (市民会館第一大会議室)

第1日 5月11日(火) 午前10時30分より 会場B

(恒星)

- B 1 高銀線分子雲における輝線星の探査：伊藤洋一(東大理)，吉田重臣(東大木曾観測所)
- B 2 Be星外圏大気放射場とBalmer 逓減率 I. モデルと放射場基本解：小暮智一(京大)，鈴木雅一(金工大)，門正博(京大理)
- B 3 A型星 95 Leo と 2 UMa の分光解析：定金晃三，宇野由利(大阪教育大)
- B 4 A0IV型 γ Gem の近紫外域分光解析：西村昌能(京都府立洛水高校)，定金晃三(大阪教育大)
- B 5 A型特異星 ν Cnc の可視域分光解析：加藤賢一(大阪市立科学館)，定金晃三(大阪教育大)
- B 6 HgMn 星の磁場検出は可能か？：小竹順子(東海大工)，比田井昌英(東海大文明研)，竹田洋一(東大理)
- B 7 金属欠乏星の酸素組成決定における NLTE 効果：竹田洋一(東大理)
- B 8 VY CMa, W Hya の SiO メーザ空間分布：三好 真，川口則幸，浮田信治，井上 允，宮地竹史，御子柴 廣(国立天文台野辺山)，亀野誠二，藤沢健太(東大理)，高羽 浩，岩田隆浩(通信総研鹿島)，松本欣也(電通大)，森本雅樹(鹿児島大)
- B 9 赤色超巨星の SiO 分子線解析：大仲圭一，辻 隆(東大理)
- B 10 晩期型星からの遠赤外線強度の予測：出口修至(国立天文台野辺山)，Nguyen-Q-Rieu, Truong-Bach (Obs. Paris)

第1日 5月11日(火) 午後1時より 会場B

- B 11 炭素星／赤色巨星の赤外スペクトル：IRAS から ISO へ：辻 隆，大仲圭一(東大理)
- B 12 共生星の中分散分光観測：林 薫¹，田村眞一¹，乗本祐慈²(¹東大理，²国立天文台岡山)
- B 13 Near-infrared Photometry of the Bulge IRAS Sources：Y. Nakada (Kiso Obs.)，O. Hashimoto (Seikei Univ.)，K. Sekiguchi, R. Catchpole, P. Whitelock (SAAO)
- B 14 IRAS 点源の近赤外測光観測と AGB 星の進化：野口邦男(名大理)，Z. Qian, G. Wang, J. Wang(北京天文台)
- B 15 惑星状星雲 CRL 618 の¹³CO による干渉計観測：山村一誠(東大理)，柴田克典(国立天文台水沢)，出口修至(国立天文台野辺山)，春日 隆(法政大工)
- B 16 Nv Cyg 1992 の偏光測光観測 (II)：西城恵一(国立科学博物館)，佐藤英男(東大理天文センター)，加藤太一，平田龍幸，関根義之(京大理)，菊池 仙(国立天文台堂平)，岡崎 彰(群馬大教育)
- B 17 球状星団 NGC 419 の観測：西田伸二，中田好一(東大理)，K. Sekiguchi (SAAO)
- B 18 球対称ポテンシャルからのずれが Be 星赤道円盤中の $m = 1$ 波に及ぼす効果について：岡崎敦男(北海学園大教養)
- B 19 I 型超新星の爆燃波面における Rayleigh-Taylor 不安定：鈴木知治，野本憲一，茂山俊和(東大理)，蜂巢 泉(東大教養)
- B 20 現実的な回転星の構造と進化 I.：橋本正章(九大教養)，江理口良治(東大教養)，E. Müller (MPI)
- B 21 ネオン新星における放射性元素²⁶Al の合成：和南城伸也¹，橋本正章²，野本憲一¹(¹東大理，²九大教養)
- B 22 G 型星の MHD スピン・ダウン：桜井健郎，馬 劼夫，北山 治(京大工航空)
- B 23 粘性力を含む磁気星風とその安定性：斎藤泰通(岩手大教育)
- B 24 超高密度星内部物質中冷核反応の温度効果：北村 光，尾形修司，一丸節夫(東大理)
- B 25 高密度多成分物質の相図と白色矮星の進化：尾形修司，家富 洋，一丸節夫(東大理)，H. M. Van Horn (Rochester 大)
- B 26 ELECTRICAL AND THERMAL CONDUCTIVITIES OF DENSE MATTER IN THE CRYSTALLINE LATTICE PHASE：林 浩史，伊藤直紀(上智大理工)，神山泰治(富士総研)

休 憩

- B 27 リコンビネーション過程によるニュートリノ・エネルギー損失率フィッティング式：小浜昭彦，武藤晴彦，伊藤直紀(上智大理工)，神山泰治(富士総研)
- B 28 8-10 M_⊙ の星における電子捕獲反応：岩本弘一(東大理)，橋本正章(九大教養)，野本憲一(東大理)
- B 29 古典新星の光度曲線再現に成功—新吸収係数の勝利：加藤万里子(慶応大)
- B 30 Ia 型超新星の極大絶対等級の理論的推定とハッブル定数：山岡 均(九大教養)，茂山俊和，野本憲一(東大理)
- B 31 ヘリカル磁場効果による SN 1987 A でのリング形成：森 正夫，鷲見治一(名大 STE 研)，柴田晋平(山形大理)
- B 32 間欠的バーストを伴う変光星流体力学的モデルの観測的特性：竹内 峯(東大理)，田中靖夫(茨城大教育)

- B 33 Blazhko 効果の Oblique Pulsator モデル：高田将郎，柴橋博資（東大理）
 B 34 太陽振動データを使つての太陽内部構造モデルの構築：柴橋博資（東大理）
 B 35 太陽表面近傍の音波振動臨界振動数：西澤 隆，柴橋博資（東大理）
 B 36 流体力学的脈動星模型への新吸収係数の影響：石田俊人（西はりま天文台），竹内 峯（東北大理）
 B 37 新しいブラックホール解とその性質：鳥居 隆，立沢尚史，前田恵一（早大理工）
 B 38 ブラックホールからの重力波の解析的方法：田越秀行（京大物理），中村卓史（京大基研）
 B 39 非平衡ブラックホールの熱力学的ゆらぎ：鍋木 修（東北大理）
 B 40 Hoop Conjecture と物体の形状について：千葉 剛，中尾憲一（京大理）
 B 41 スピンをもつ連星系からの重力波：柴田 大（京大理）
 B 42 GRAPE による渦糸法：蜂巣 泉，牧野淳一郎，戎崎俊一，杉本大一郎（東大教養）
 B 43 新吸収係数を用いた降着円盤の不安定性：兼武令子，竹内 峯（東北大理）
 B 44 ブラックホールの周囲の降着円盤の安定性：内田俊郎（東北大理）
 B 45 一本腕コルゲーション波の粘性による大局不安定：本間文雄（京大理）

第2日 5月12日（水） 午前9時20分より 会場B

- B 46 Study on Non-linear Alfvén Waves in Electron-Positron Plasma with 3-D Particle Code：Jie Zhao, Jun-ichi Sakai¹, K.-I Nishikawa², T. Neubert³ and O. Buneman⁴ (¹Toyama University, ²The University of Iowa, ³The University of Michigan, ⁴Stanford University)
- B 47 Hydrodynamical Winds from an Astrophysical Disk：岡田理佳，高原文郎（都立大理）
 B 48 断熱的降着流の定在衝撃波不安定：中山薫二（京大理）
 B 49 衝撃波を伴う降着流の安定性：信田浩司，花輪知幸（名大理）
 B 50 ブラックホール磁気圏中のプラズマ降着流の時間変動：広谷幸一，冨松 彰（名大理）
 B 51 回転するブラックホール周辺の磁気降着円盤：工藤哲洋，鍋木 修（東北大理）
 B 52 粘性パラメータ α 高さ依存性：中尾泰士，加藤正二（京大理）
 B 53 X 線新星における指数関数的減光：石坂千春，嶺重 慎，山崎達哉（京大理）
 B 54 新しい質量関数による SS 433 の光度曲線：三分一清隆，福江 純（大阪教育大）
 B 55 降着円盤の輝線スペクトル：放射率分布が非軸対称な場合：福江 純，三分一清隆（大阪教育大）
 B 56 AGN, X 線星の周りの降着円盤からの輻射スペクトル：志村俊也，高原文郎（都立大理）
 B 57 矮新星不安定円盤の脈動と準周期変光：山崎達哉，加藤正二，嶺重 慎（京大理）
 B 58 矮新星 WZ Sge 星のモデル：尾崎洋二，市川 晋（東大理）
 B 59 矮新星における爆発周期の質量輸送率依存性：市川 晋，尾崎洋二（東大理），廣瀬雅人（モナッシュ大）
 B 60 系外銀河の超新星からのラインガンマ線の観測可能性：熊谷紫麻見，野本憲一（東大理）
 B 61 ガンマ線バーストのサイクロトロン線：西村 治（長野高専）

第2日 5月12日（水） 午後1時より 会場B

- B 62 Cir X-1 の X 線の時間変動：宮本重徳，牧野至洋，北本俊二（阪大理）
 B 63 「ぎんが」，「ようこう」衛星による γ 線バーストの観測：村上敏夫（宇宙研），吉田篤正（理研），西村 純（神奈川大），E. Fenimore, T. Strohmayer (LANL)
 B 64 X 線天文衛星「ぎんが」による X 1254-690 のディップの解析：宇野伸一郎，青木貴史，吉田健二，満田和久（宇宙研）ほか「ぎんが」チーム
 B 65 “ぎんが” 衛星による X 1916-05 の X 線ディップの観測：吉田健二（神奈川大工），榎野文命，井上 一，満田和久，堂谷忠靖（宇宙研）
 B 66 低質量 X 線連星の強度変動とエネルギースペクトル：浅井和美，長瀬文昭，堂谷忠靖（宇宙研），他「ぎんが」チーム
 B 67 M 15 からの X 線バーストの non-Planckian スペクトル：松葉栄治，堂谷忠靖，吉田健二（宇宙研）
 B 68 「ぎんが」の ASM で見た X 線パルサー CenX-3 の長期変化：田村啓輔，常深 博，和田幹生（阪大理）
 B 69 X 線新星 GRO J 0422+32 における光学的 superhump と軌道周期の発見：加藤太一，平田龍幸，嶺重 慎（京大理）
 B 70 低質量 X 線連星 GX 5-1 からの X 線の時間変動：鎌土恭秀，宮本重徳，北本俊二（阪大理）
 B 71 SS 433 の X 線観測（1987-1991）：袁 為民，河合誠之，松岡 勝（理研）

（我々の銀河系）

- B 72 Identification of the Near-Infrared Sources in the Galactic Center Region：小野智子，泉浦秀行（東京学芸大），中田好一（東大理木曾観測所），R. Catchpole, I. Glass, P. Whitelock, 関口和寛（SAAO）

- B 73 SiO メーザー輝線による銀河系バルジの速度構造の研究 III：泉浦秀行，小野智子(東京学芸大)，中田好一，山村一誠，尾中 敬(東大理)，浮田信治，出口修至(国立天文台野辺山)，橋本 修(成蹊大)，関口和寛，P. Whitelock, P. Catchpole (SAAO)
- B 74 プレセペ星団の構造解析：田中英明，横尾武夫(大阪教育大)

(その他)

- B 75 PASJ に投稿すべきか？III. 1986 年に発表された日本の天文学・天体物理学論文の被引用頻度：寿岳 潤(東海大文明研)

ポスター・ディスカッション (午後 3 時 30 分より 4 時 20 分まで)

第 3 日 5 月 13 日 (木) 午前 9 時 20 分より 会場 B
(太陽)

- B 76 「ようこう」HXT の感度、フレアの統計：小杉健郎，沢 正樹，坂尾太郎，増田 智，矢治健太郎(国立天文台)，牧島一夫，印田美香(東大理)，村上敏夫，小川原嘉明(宇宙研)
- B 77 ようこう HXT による太陽フレアの粒子加速現象の観測 (II)：坂尾太郎，小杉健郎，鯉目信三，増田 智(国立天文台)，小出美香(東大理/富山大工)，牧島一夫(東大理)，ほか「ようこう」チーム
- B 78 Impulsive な硬 X 線バーストの初期に生じる放射源の変動：高倉達雄，印田美香，牧島一夫，増田 智(東大理)，小杉健郎，坂尾太郎，桜井 隆(国立天文台)，小川原嘉明(宇宙研)
- B 79 フレアを頻発した活動領域 NOAA 7270：矢治健太郎，小杉健郎，坂尾太郎，増田 智(国立天文台)，印田美香，清水敏文(東大理)
- B 80 1992 年 9 月 6 日のフレアについて：北井礼三郎，黒河宏企，船越康弘，中井善寛(京大理附属天文台)，柴田一成(国立天文台)，新田就亮(ロッキード)，矢治健太郎(東大教養)，ほか「ようこう」チーム，国立天文台フレア望遠鏡チーム
- B 81 電波ヘリオグラフで観測されたフレア直前の活動現象：柴崎清登，他電波ヘリオグラフグループ(国立天文台野辺山)
- B 82 「ようこう」HXT による 1991 年 12 月 16 日フレアの観測：小出美香(東大理/富山大工)，牧島一夫(東大理)，小杉健郎，坂尾太郎(国立天文台)，HXT グループ
- B 83 アークード型フレアの軟 X 線と H α 画像の詳細比較：清水敏文(東大理)，H. Zirin (Caltech, BBSO)，常田佐久(東大理)
- B 84 1992 年 11 月 2 日，X 9 フレアの可視光と SXT による観測：一本 潔，桜井 隆，西野洋平，野口本和，篠田一也(国立天文台)，伝甫 淳，福島 敬，日江井榮二郎(明星大)，「ようこう」SXT チーム，乗鞍観測所チーム
- B 85 「ようこう」衛星で観測されたループフレア：J. カーン^a，内田 豊^a，U. フェルドマン^b，A. マカリストア^a (^a東大，^bE. O. Hulburt Center for Space Research, アメリカ)
- B 86 浮上磁場領域に頻発するフレア：黒河宏企，河合吾郎，北井礼三郎，船越康宏，中井喜寛(京大理附属天文台)，柴田一成(国立天文台)，新田就亮(ロッキード)，常田佐久(東大理)，小川原嘉明(宇宙研)
- B 87 離れた場所で連続して起こるフレア：花岡康一郎，電波ヘリオグラフグループ(国立天文台野辺山)，Yohkoh Team
- B 88 スパイクバーストに見つかった高エネルギー成分：大木健一郎(国立天文台)，吉森正人，森本幸司，須賀一治(立教大)
- B 89 1991 Oct. 27 フレアで観測された γ 線スペクトルの解析：吉森正人，佐藤 淳，平岡卓也，須賀一治，森本幸司(立教大理)，河鱈公昭(名大理)，大木健一郎(国立天文台)
- B 90 1991 年 11 月 15 日のフレアからの陽電子消滅線：河鱈公昭(名大理)，吉森正人，須賀一治，森本幸司，平岡卓也，佐藤 淳(立教大理)，大木健一郎(国立天文台)
- B 91 X クラスフレアの電波観測：鯉目信三，電波ヘリオグラフグループ(国立天文台野辺山)
- B 92 NOAA 7321 におけるフレアの電波観測：西尾正則，電波ヘリオグラフグループ(国立天文台)

第 3 日 5 月 13 日 (木) 午後 1 時より 会場 B

- B 93 フレア初期の電波源の急激な偏波変動：鷹野敏明，電波ヘリオグラフグループ (NRO)，YOHKOH Team，三鷹フレア望遠鏡グループ (NAO)
- B 94 太陽フレア・プラズマの研究 (1)：湯田小百合，金子博之，伝甫 淳，日江井榮二郎(明星大)，渡辺鉄哉(国立天文台)

- B 95 離散的増光現象は強度によらず高温—Discrete Events are Never Lukewarm: 渡邊鉄也 (国立天文台), 原弘久, 清水敏文 (東大理), A. Fludra (MSSL), J. Lang, K. Phillips, D. Pike, B. Bromage (RAL)
- B 96 Penumbral Anomaly in NOAA 7031 Observed in Optical and X-ray Wavelengths: K. Shibata (NAOJ), H. Zirin (BBSO), and SXT team
- B 97 SXT で観測されたループ相互作用: 秋岡眞樹 (通総研平磯), L. W. Acton (Lockheed), H. S. Hudson (ハワイ大)
- B 98 Small-Scale Brighening Events found with Mitaka H α Patrol System and their Soft X-ray Signitures from YOHKOH SXT: Y. Suematsu (NAOJ), T. Shimizu (U. of Tokyo), YOHKOH SXT team
- B 99 コロナループの X 線強度変動と彩層の H α 活動, 光球磁場の関係: 桜井 隆, 柴田一成, 一本 潔 (国立天文台), 高田将郎 (東大理), Yohkoh SXT チーム
- B 100 活動領域の磁場構造とコロナループの DC 加熱: 常田佐久, 鹿野良平 (東大理天文センター)
- B 101 X-ray bright point の空間分布における非一様性: 高見道弘, 常田佐久, 高橋哲男 (東大理天文センター), K. Strong, K. Harvey, G. Slater (Lockheed)
- B 102 コロナ磁場の爆発的膨張: A. マカリスター, 内田 豊, J. カーン (東大理)
- B 103 「ようこう」SXT ミラーの散乱特性とコロナホールの温度: 原 弘久, 常田佐久 (東大理), L. Acton, P. Martens, J. Lemen (LPARL)
- B 104 Synoptic X-ray Observation of the Solar Corona with Yohkoh: Tetsuo Takahashi, Saku Tsuneta (Institute of Astronomy, University of Tokyo), Hirokazu Yoshimura (Department of Astronomy, University of Tokyo), Takashi Watanabe, Yukio Kozuka (STE laboratory, Nagoya University)
- B 105 X 線と HeI 10830 Å で見たコロナホール: 久保真治, 遠藤 健, 日江井栄二郎 (明星大), P.S.McINTOSH (NOAA), 原 弘久 (東大理)
- B 106 太陽磁気圏構造の変化とコロナ構造との関係: 小塚幸央¹, 渡辺 堯², 小島正宣¹, 大山政光¹, 斎藤尚生³, ようこうグループ (¹名大 STE 研, ²茨城大理, ³東北大理)
- B 107 1991 年 7 月 11 日皆既日食における内部コロナの絶対強度分布: 武田 秋, 黒河宏企, 北井礼三郎, 石浦清美 (京大理)
- B 108 太陽コロナ中の質量の放出現象: 日江井栄二郎 (明星大), D. G. Sime, A. J. Hundhausen (HAO)

休 憩

- B 109 フィラメント消失に伴う磁場構造の変化: 大山政光¹, 渡辺 堯², 小島正宣¹, 小塚幸央¹, 平山 淳³, 常田佐久⁴, 亘 慎一⁵, 陽光グループ (¹名大 STE 研, ²茨城大, ³国立天文台, ⁴東大理, ⁵通総研平磯)
- B 110 1992 年 5 月 7 日の太陽フィラメント消滅に伴う惑星間空間衝撃波: 渡辺 堯, 小塚幸央, 小島正宣, 大山政光 (名大 STE 研), J. Kahn (東大理), 「ようこう」グループ
- B 111 「ようこう」軟 X 線画像で検証された回転反転 MODEL と三双極子 MODEL——太陽と地球の比較磁気圏学——: 斎藤尚生 (東北大理), 小塚幸央 (名大 STE 研), H. HUDSON (ハワイ大天文), 常田佐久 (東大理), 南 繁行 (阪市大工)
- B 112 10¹³eV の宇宙線で見た太陽の影のずれ: 西澤正己 (東大宇宙線研), 山本嘉昭 (甲南大理)
- B 113 太陽風加速域における密度ゆらぎの分布: 徳丸宗利, 森 弘隆, 田中高史, 近藤哲郎, 高羽 浩, 小山泰弘 (通信総研)
- B 114 3 次元 MHD 解析による太陽圏外圏の研究 (II): 野澤 恵, 鷲見治一 (名大 STE 研)
- B 115 浮上磁場にもなうジェット流: 横山央明 (総研大), 柴田一成 (国立天文台), および SXT チーム
- B 116 Three Dimensional Simulation of Collapse of Shell Current Magnetic Loop: Shinji Koide and Jun-ichi Sakai (Toyama University)
- B 117 アークードフレアの四重極性—ダーク・フィラメントとアークードフレアのモデル—: 内田 豊, A. マカリスター, J. カーン (東大理), 桜井 隆 (国立天文台), K. ヨッカーズ (MPI. Aeronomy)
- B 118 フレアのエネルギー解放の一試案: 平山 淳 (国立天文台)
- B 119 磁束管内の対流不安定の時間発展について: 竹内彰継 (米子高専)
- B 120 太陽黒点の磁場の傾きの分布: 新川雄彦, 牧田 貢 (京大理)
- B 121 黒点の自転速度とフレアの発生について: 鈴木美好 (三重県立津高校), 久保田諄 (京大花山天文台)
- B 122 THE 110-YEAR PSEUDO-PERIODIC MODULATION OF THE LUMINOSITY OF THE SUN: Hirokazu Yoshimura (Department of Astronomy, University of Tokyo)
- B 123 次期太陽観測衛星: 光学望遠鏡の光学概念設計: 鹿野良平, 常田佐久, 田中培生 (東大理天文センター)
- B 124 HiRAS (広帯域太陽電波観測装置) の開発: 近藤哲郎, 猪木誠二, 磯辺 武, 西川 淳, 秋岡眞樹 (通信総研平磯)

会場 C (あじさい会館ホール)

第1日 5月11日(火) 午前10時30分より 会場C

(星間現象)

- C 1 吸着水の赤外 3 μm 質量吸収係数——ケイ酸質星間塵中の水の存在量の見積り——：和田節子, 坂田 朗, 今野秀紀 (電通大)
- C 2 “217 nm hump” を示す炭素質物質の分析——プラズマ放出ビーム中で生成する QCC——：坂田 朗, 和田節子, 成澤孝敏, 小野 洋 (電通大), A. T. TOKUNAGA (ハワイ大)
- C 3 SgrB2 (N) における HDO の検出：大石雅寿, 石川晋一 (NRO), 海部宣男 (NAO), 齋藤修二 (分子研)
- C 4 SNR. RX 04591+5147 の X 線観測：小山勝二, 山内茂雄(京大理), 野本 進, 林田 清, 常深 博(阪大理), 朝岡育子 (MPE)
- C 5 「ぎんが」衛星による HB9 の観測：山内茂雄, 小山勝二 (京大理), 「ぎんが」チーム
- C 6 「ぎんが」衛星による Lupus region の観測：尾崎正伸, 山内茂雄, 小山勝二 (京大理), 「ぎんが」チーム
- C 7 南天の星雲 2 個の光学観測：能丸淳一 (国立天文台三鷹), 小倉勝男 (國學院大)
- C 8 高励起ハービッグ・ハロー天体 HH 143 の発見：小倉勝男 (國學院大), 能丸淳一 (国立天文台三鷹)
- C 9 HH ジェットの励起星のミリ波干渉計観測—HH 83—：仲野 誠(大分大), 杉谷光司(名古屋市大), 小倉勝男 (國學院大), 佐藤文男 (東京学芸大)
- C 10 Herbig Ae/Be 星の近赤外分光観測：冨田和学, 長田哲也, 小林尚人 (京大理), 佐藤修二 (名大理), 孫 敬顯 (北京天文台)

第1日 5月11日(火) 午後1時より 会場C

- C 11 オリオン KL における SiO の分布：山本 智, 三上人巳 (名大理), 齋藤修二 (分子研), 村田泰宏 (宇宙研), 川辺良平 (国立天文台野辺山)
- C 12 近赤外ファブリペロイメーキング IV, オリオン広領域の 2 次元 H_2 強度比：白田知史, 菅井 肇, 井上素子, 片坐宏一, 田中培生 (東大理), 川端拓信 (学芸大教育)
- C 13 近赤外ファブリペロイメーキング V, 反射星雲 NGC 2023 の 2 次元 H_2 輝線強度比：川端拓信 (学芸大教育), 白田和史, 菅井 肇, 井上素子, 片坐宏一, 田中培生 (東大理)
- C 14 近赤外ファブリペロイメーキング VI, L 1157 分子流の H_2 輝線：梅本智文(NRO), 三上人巳, 山本 智(名大理), 白田和史, 菅井 肇, 井上素子, 片坐宏一, 田中培生 (東大理), 川端拓信 (学芸大教育)
- C 15 近赤外ファブリペロイメーキング VII, 速度分解編—オリオン KL 領域の水素分子輝線：菅井 肇, 白田知史, 井上素子, 片坐宏一, 田中培生 (東大理), 川端拓信 (学芸大教育)
- C 16 暗黒星雲の分子スペクトル大規模探索—I：海部宣男, 大石雅寿, 川口建太郎, 石川晋一, 宮澤敬輔, 宮地竹史, 奥村千秋 (国立天文台), 齋藤修二 (分子研), 山本 智 (名大理), 平原靖大 (東大養)
- C 17 CO($J=2-1$) 輝線による銀河面サーベイ IV：阪本成一¹, 長谷川哲夫², 林 正彦¹, 半田利弘², 岡 朋治¹, 木村 修³, 高山隆児¹ (¹東大理天文教室, ²東大理天文センター, ³東京学芸大)
- C 18 :CO($J=2-1$) 輝線によるおうし座分子雲の広域観測：林 正彦, 阪本成一, 長谷川哲夫, 半田利弘, 岡 朋治 (東大理), 木村 修 (東京学芸大)
- C 19 ばら星雲に付随する巨大分子雲の CO($J=2-1$) 輝線の観測：森野潤一, 高桑繁久, 吉田 剛, 長谷川哲夫, 林 正彦, 半田利弘, 阪本成一, 岡 朋治 (東大理)
- C 20 ケフェウス・フレア分子雲の CO($J=2-1$) 輝線の観測：佐藤文男 (東京学芸大), 長谷川哲夫, 林 正彦, 半田利弘, 阪本成一, 岡 朋治 (東大理)
- C 21 へびつかい座北部領域の分子雲コア：坪井 隆, 立原研悟, 水野 亮, 小川英夫, 福井康雄 (名大理)
- C 22 オリオン A 分子雲の分子雲コア：長浜智生, 大西利和, 米倉覚則, 水野 亮, 小川英夫, 福井康雄 (名大理), 岩田隆浩 (通信総研鹿島)
- C 23 おうし座分子雲コアの高分解能観測：水野 亮¹, 大西利和¹, 林 正彦², 大橋永芳³, 砂田和良², 長谷川哲夫², 福井康雄¹ (¹名大理, ²東大理, ³国立天文台野辺山)
- C 24 カシオペア・セフェウス座領域の¹³CO 広域観測：米倉覚則, 水野 亮, 小川英夫, 福井康雄 (名大理), 尾林彩乃, 佐藤文男 (東京学芸大), 土橋一仁 (大阪府立大)
- C 25 カシオペア座の暗黒星雲 L 1330, L 1333 を含む領域の¹³CO 輝線観測：尾林彩乃, 佐藤文男 (東京学芸大), 米倉覚則, 福井康雄 (名大理)
- C 26 白鳥座領域の¹³CO 広域観測 II：土橋一仁 (大阪府立大), J. P. Bernard, 米倉覚則, 大西利和, 坪井 隆, 長濱智生, 水野 亮, 小川英夫, 福井康雄 (名大理)

休 憩

- C 27 銀河中心からの遠赤外 [CII] 線放射：中川貴雄¹，奥田浩之¹，土井靖生^{1,2}，望月賢治^{1,2}，油井由香利^{1,2}，油井正生^{1,2}，芝井 広¹，西村徹郎³，F.J.Low³ (¹宇宙研，²東大理，³アリゾナ大)
- C 28 銀河スケールの [CII] 輝線放射の分布：土井靖生^{1,2}，中川貴雄^{1,2}，望月賢治^{1,2}，油井由香利^{1,2}，奥田浩之¹，油井正生^{1,2}，芝井 広¹，西村徹郎³，F.J.Low³ (¹宇宙研，²東大理，³アリゾナ大)
- C 29 大マゼラン雲における星間炭素の存在形態：望月賢治^{1,2}，中川貴雄¹，土井靖生^{1,2}，油井由香利^{1,2}，奥田浩之¹，矢島信之¹，成田正直¹，油井正生^{1,2}，芝井 広¹，西村徹郎³，F. J. Low³ (¹宇宙研，²東大理，³アリゾナ大)
- C 30 野辺山ミリ波干渉計による 150 GHz 帯原始惑星系円盤のサーベイ観測：大橋永芳¹，川辺良平¹，林 正彦²，石黒正人¹ (¹NRO，²東大理)
- C 31 GG Tau の原始惑星系円盤の¹³CO，CS 観測：大西利和¹，水野 亮¹，林 正彦²，大橋永芳³，福井康雄¹，S. Strom⁴，K. Strom⁴，M. Skrutskie⁴ (¹名大理，²東大理，³国立天文台野辺山，⁴Univ. of Massachusetts)
- C 32 原始惑星系円盤の重力不安定性 (線形解析 2)：菊地信弘 (東大理)，観山正見 (国立天文台)
- C 33 原始惑星系円盤に対する伴星重力の影響 (2 次元線形解析)：小林謙一，竹内 拓 (総研大)，観山正見 (国立天文台)
- C 34 巨大惑星と原始惑星系円盤の潮汐相互作用：竹内 拓，小林謙一 (総研大)，観山正見 (国立天文台)
- C 35 円柱状星間ガス雲の分裂過程 (非線形計算 3)：犬塚修一郎 (東大理)，観山正見 (国立天文台)
- C 36 フィラメント状分子雲の分裂：ガス円盤形成の条件：花輪知幸，中村文隆 (名大理)
- C 37 フィラメント状ガス雲の分裂：衝撃波圧縮されたガス円盤：中村文隆，花輪知幸 (名大理)，中野武宣 (国立天文台野辺山)
- C 38 回転しているフィラメント状ガス雲の分裂過程：松本倫明，中村文隆，花輪知幸 (名大理)
- C 39 回転している星間分子雲の自己重力収縮の動的進化への磁場の影響 (III)：太田完爾，羽部朝男 (北大理)
- C 40 Brught rimmed cloud における分子流と星生成：岩田隆浩 (通信総研鹿島)，大西利和，水野 亮，福井康雄 (名大理)，土橋一仁 (大阪府立大)，Ned Ladd (Univ. Hawaii)
- C 41 星の質量の上限は何が決めるか?：中野武宣 (国立天文台野辺山)，長谷川哲夫 (東大理センター)
- C 42 FU Ori 型爆発のシミュレーション：嶺重 慎，川添英子 (京大理)
- C 43 減速衝撃波不安定の非線形成長 III：西 亮一，山田良透 (京大理)
- C 44 薄い降着円盤の進化：accretion and excretion：成田真二 (同志社大)，木口勝義 (近畿大)，林忠四郎

第 2 日 5 月 12 日 (水) 午前 9 時 20 分より 会場 C
(太陽系)

- C 45 太陽地球系の一層モデル：海野和三郎 (近畿大)
- C 46 大気・水系の複合体による太陽光の反射：上野季夫 (京都コンピュータ学院情報科学研)
- C 47 1992 年 - 1993 年の火星北極冠の形成と縮小：岩崎恭輔 (京都学園大)，S. Larson (アリゾナ大)，海老沢嗣郎 (惑星物理学観測所)，赤羽徳英 (飛驒天文台)，E. Panjaitan，I. Radiman (ボスカ天文台)
- C 48 火星の春分前後における極雲と極冠：赤羽徳英 (飛驒天文台)，富田良雄，鈴木秀實，大谷 浩 (京大理)
- C 49 木星北温帯縞における活動現象の一解釈：浅田 正 (九州国際大)，P. J. Gierasch (コーネル大)，山形俊男 (東大理)
- C 50 木星の近赤外撮像観測 2：長谷川均 (アステック)，渡部潤一 (国立天文台)，佐藤修二 (名大理)
- C 51 木星 4 μm オーロラの正体：佐藤毅彦¹，J. Harrington²，R. Baron¹，T. Owen¹，J. Connerney³，(¹ハワイ大天文，²マサチューセッツ工科大，³NASA ゴダードスペースフライトセンター)
- C 52 太陽系小天体の偏光特性：岩田豊一郎，楠原 徹，衣笠健三，向井 正 (神大理)，菊池 仙 (国立天文台)，トウタチス協同観測者
- C 53 アポロ・アモール型小惑星探査候補 (1943) アンテロスの地上観測：渡部潤一 (国立天文台)，水谷 仁 (宇宙研)，安部正真 (東大理，宇宙研)，中村 士 (国立天文台)
- C 54 小惑星同士の“ニアミス”の分布と特徴：吉川 真 (通総研)，中村 士 (国立天文台)
- C 55 小惑星同士の接近頻度の一様性：中村 士 (国立天文台)，吉川 真 (通総研，鹿島)
- C 56 スイフトタツル周期彗星に核近傍現象について：菅原 賢 (厚木市子ども科学館)，秋澤宏樹 (姫路市星の子館)，永長英夫 (加西市)
- C 57 レビエ彗星 (1990 XX) にみられた“古い”ダストテイルの解析：渡辺 裕 (名大 STE 研)，渡部潤一 (国立天文台)
- C 58 彗星から放出されるフラクタルダストの最大質量：北田洋平，中村良介，向井 正 (神大理)
- C 59 TVD 法による太陽惑星間空間の MHD シミュレーション：田 光江 (通総研平磯)，田中高史 (通総研)
- C 60 水赤外メーザー星 (原始太陽) と惑星組織：清水幹夫 (宇宙研)

第2日 5月12日(水) 午後1時より 会場C

(銀河・銀河団)

- C 61 外場に対する1次元恒星系のレスポンス: 藤原隆男(京都市立芸大), 穂積俊輔(Lick Observatory, 滋賀大教育)
- C 62 無衝突自己重力系のCORE-HALO構造について: 野桜俊也(北大理)
- C 63 自己重力多体系におけるよどみ運動: 土屋俊夫(京大理), 郷田直輝(阪大理), 小西哲郎(名大理)
- C 64 2成分自己重力系(回転する非軸対称恒星系+ガス系)のダイナミクス: 和田桂一, 羽部朝男(北大理)
- C 65 二次元重力多体系における二体緩和の数値実験: 山城稔暢(京大理)
- C 66 HARP-1: Hermite Schemeによる重力多体問題専用計算機: 小久保英一郎, 泰地真弘人, 牧野淳一郎(東大教養)
- C 67 HARP chip: GRAPE-4システム用重力計算LSI: 泰地真弘人, 小久保英一郎, 牧野淳一郎, 戎崎俊一, 杉本大一郎(東大教養)
- C 68 GRAPE-4システム用予測子チップの開発: 牧野淳一郎, 泰地真弘人, 戎崎俊一, 杉本大一郎(東大教養)
- C 69 ISOによる原始銀河探査の可能性についてII: 佐藤康則¹, 川良公明², 谷口義明¹, 若松謙一³, 奥田治之⁴, 唐牛宏², 岡村定矩⁵, 塩谷泰広¹, 松本敏雄⁶(¹東北大理天文, ²国立天文台, ³岐阜大教養, ⁴宇宙科学研究所, ⁵東大理天文, ⁶名大理)
- C 70 講演取消
- C 71 M 82の近赤外線撮像観測: 市川 隆, 伊藤信成, 樽沢賢一(東大理), 柳澤顕史(東京学芸大), 上野宗孝(東大教養)
- C 72 Near Infrared Surface Photometry of Edge-on Galaxies: 太田耕司(京大理), 小平桂一(国立天文台), 上野宗孝(東大教養)
- C 73 単純な測光パラメータを用いた銀河の分類: 岡村定矩, 土居 守(東大理), 樽沢賢一(東大理木曾), 福来正孝(京大基研)
- C 74 CO versus HI in the Tully-Fisher Relation: Franz Schöniger and Yoshiaki Sofue (Institute of Astronomy, University of Tokyo)
- C 75 HI → H₂ → Star Conversion in Galaxies: 祖父江義明, 東矢高尚, F. Schöniger(東大理), 中井直正(NRO)

ポスター・ディスカッション(午後3時30分より4時30分まで)

第3日 5月13日(木) 午前9時20分より 会場C

- C 76 近赤外ファブリペロイメーキングVIII NGC 253中心領域の2次元H₂強度比: 田中培生, 白田知史, 菅井肇, 井上素子, 片坐宏一(東大理), 川端拓信(学芸大教育)
- C 77 NGC 1569のH α 速度場の研究: 富田晃彦, 太田耕司, 斎藤 衛(京大理)
- C 78 棒渦巻銀河M 83中心部の分子ガスの二重棒構造: 半田利弘(東大理天文セ), 石附澄夫(東北大理天文), 川辺良平(国立天文台野辺山)
- C 79 野辺山7素子ボロメータアレイによる系外銀河の観測: 久野成夫, 松尾 宏(NRO), 奥村健市(東大天文), 水本好彦(神戸大理)
- C 80 重力不安定解析による渦巻銀河NGC 3198のdisk-halo構造の決定: 多賀正敏(東大理), 家 正則(国立天文台)
- C 81 M 51の磁場形状: 加藤雄治, 沢 武文(愛知教育大)
- C 82 銀河円盤の進化: 重元素勾配と回転曲線II: 塩谷泰広, 土佐 誠(東北大理)
- C 83 動圧による円盤銀河での渦状腕の励起: 加藤正二(京大理), 土佐 誠(東北大理)
- C 84 棒状重力場におけるリング構造の再起的形成: 木村俊哉, 福長正孝(東北大理)
- C 85 楕円銀河の化学的・力学的進化: 辻本拓司, 野本憲一, 茂山俊和(東大理)
- C 86 銀河の質量, 光度, ガス量の相関: 中村 睦, 横尾武夫(大阪教育大)
- C 87 銀河進化モデルと恒星進化路: 児玉忠恭, 有本信雄(東大理)
- C 88 局部銀河群の進化とマゼラン雲の軌道・II: 上村左知子, 土佐 誠(東北大理)
- C 89 NUMERICAL SIMULATIONS OF THE MAGELLANIC SYSTEM: L. T. Gardiner (Nagoya University), T. Sawa (Aichi University of Education), M. Fujimoto (Nagoya University)
- C 90 球状星団系の光度関数の進化: 岡崎 匡(東北大理)
- C 91 回転とシアアを含むガス層の安定性と球状星団形成: 宇佐美昌俊, 花輪知幸, 藤本光昭(名大理)
- C 92 Pisces-Perseus領域の銀河表面測光に基づくHubble定数と特異運動: 渡辺 大, 市川 隆, 岡村定矩, 土居守, 嶋作一大, 柏川伸成, 安田直樹(東大理)

第3日 5月13日(木) 午後1時より 会場C

- C 93 乙女座銀河団の空間構造：安田直樹¹，岡村定矩¹，福来正孝²，土居 守¹，嶋作一大¹，柏川伸成¹(¹東大理，²京大理)
- C 94 へびつかい座銀河団II 銀河サーベイ：若松謙一(岐阜大教養)，長谷川 隆(東大理天文)
- C 95 へびつかい座銀河団III 空間的構造：長谷川 隆(東大理天文)，若松謙一(岐阜大教養)，唐牛 宏(国立天文台)，関口和寛(南アフリカ天文台)
- C 96 銀河団メンバーの近赤外線撮像観測：伊藤信成，市川 隆，樽沢賢一(東大理)，柳澤顕史(東京学芸大)，上野宗孝(東大教養)
- C 97 超銀河面-SGZ 側での銀河の分布：高田唯史，山田 亨，斎藤 衛(京大理)
- C 98 近傍の銀河団($z < 0.1$)の温度と鉄の組成比：山中正行(宇宙研)，山下広順(名大理)，廿日出勇(宮崎大工)
- C 99 銀河団高温ガスの化学的力学的進化：石丸友里，辻本拓司，有本信雄，野本憲一(東大理)
- C 100 銀河間ガスの熱的・化学的進化：福本淳司(東大理)，池内 了(阪大理)
- C 101 銀河からの熱放出による高温ガスの進化：松澤英之(埼玉大，理研)，服部 誠(理研)
- C 102 楕円銀河のX線ハーローと銀河間ガスの相互作用：村上 泉，梅村雅之(国立天文台)
- C 103 ASCAによる宇宙平均密度の下限値の新しい決定法の提案：服部 誠(理研)
- C 104 Cold Dark Matter 宇宙における銀河団形成：矢地晴一，羽部朝男(北大理)
- C 105 多重散乱による銀河の像：船渡陽子，牧野淳一郎，戎崎俊一(東大教養)
- C 106 NGC 1275 中心核のH₂輝線プロフィール：井上素子，田中培生，長谷川哲夫(東大理)，Alan. T. Tokunaga(ハワイ大)
- C 107 系外銀河における¹²CO ($J = 1 - 0$)の動径分布(II)：濤崎智佳，塩谷泰広，谷口義明(東北大理)
- C 108 OAO-SNGによるセイファート1型銀河NGC 3516のEELRの観測：青木賢太郎¹，大谷 浩¹，小杉城治¹，吉田道利^{1,6}，佐々木実²，兼古 昇³，外山清高⁴，佐藤哲也⁵，佐々木敏由紀⁶，清水康弘⁶，小矢野久⁶(¹京大理，²下関市立大，³北大理，⁴北海道情報大，⁵栗山高校，⁶国立天文台)

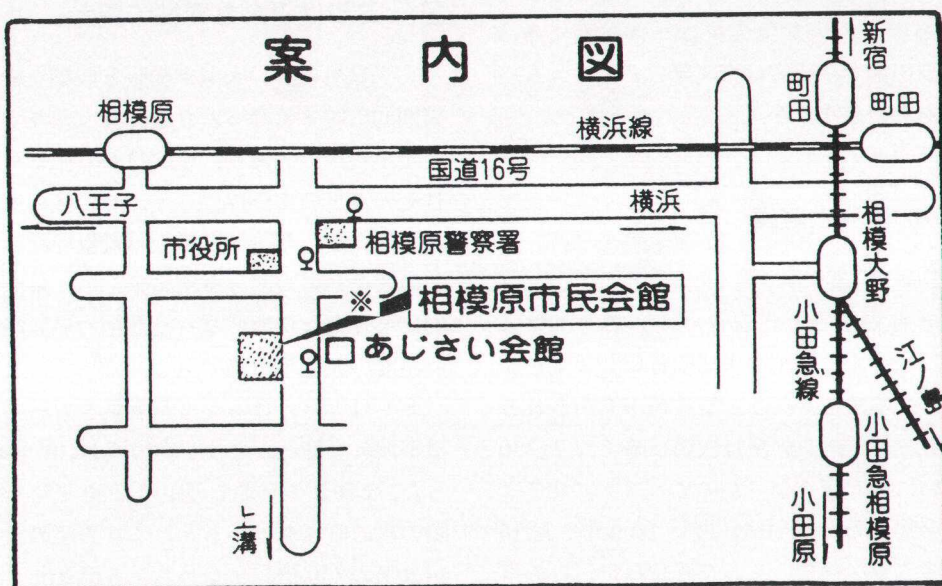
休 憩

- C 109 KNIFE サーベイによるAGNのmain sequence：亀野誠二，三好 真(東大理)，松本欣也(電通大)，井上 允，川口則幸(国立天文台野辺山)，高羽 浩，岩田隆浩，高橋幸雄，小山泰弘(通総研)
- C 110 X線天文衛星「ぎんが」によるQSOの観測：香村芳樹，牧島一夫，田代 信(東大理)，大橋隆哉(都立大理)，紀伊恒夫，榎野文命，大谷知行(宇宙研)，粟木久光(名大理)
- C 111 Rosat 衛星によるNGC 247の観測：池辺 靖(東大理)，G. Fabbiano (Harvard Smithsonian Center for Astrophysics)
- C 112 BL Lac 天体のX線スペクトルの変動と輻射機構：田代 信，牧島一夫，香村芳樹，印田美香(東大理)，大橋隆哉(都立大理)，S. Sembay (Leicester大)，榎野文命，大谷知行(宇宙研)ほか「ぎんが」チーム
- C 113 3C 279のGeV γ 線とSSCモデル：高野匡代，牧原吉樹，村田健治，柴崎徳明(立教大理)
- C 114 X-ray Baldwin Effect：岩澤一司(名大理)，谷口義明(東北大天文)
- C 115 活動銀河核MCG-5-23-16の大きい鉄X線輝線の等価幅とそのモデル：松岡 勝，山内 誠，Ian A. BOND(理研)
- C 116「ぎんが」衛星によるCygnus Aの観測II：上野史郎，山内茂雄，小山勝二，西田 稔(京大理)，M. J. Ward (U. Oxford)，ぎんがチーム
- C 117 BL Lac 型天体のX線時間変動：大谷知行，榎野文命(宇宙研)，田代 信，香村芳樹(東大理)，大橋隆哉(都立大理)他「ぎんが」チーム
- C 118「ぎんが」によるNGC 2110のX線観測II：林 一蔵，小山勝二，山内茂雄，鶴 剛，上野史郎(京大理)，粟本久光(名大理)，「ぎんが」チーム
- C 119 kpc からAUまでのガスの流れ：福長正考(東北大理)
- C 120 合体銀河における中心10 pc へのgas fueling：戸次賢治，野口正史(東北大理)
- C 121 活動銀河核に於けるX線放射の粒状ガスによる輻射輸送の計算：Ian A. BOND，松岡 勝(理研)
- C 122 共生降着円盤モデルのモンテカルロシミュレーション：中村香織，尾崎洋二(東大理)
- C 123 AGNにおける相対論的降着円盤からのスペクトル：山田龍也(阪大理)，嶺重 慎(京大理)，福江 純(大阪教育大)
- C 124 ブラックホールへの降着磁気流体流の安定性：横沢正芳(茨城大理)

ポスターセッション（市民会館ホール）

- P 1 A Pilot Program of Digital Strip Scanning CCD Micrometer (DISC-II)：鈴木駿策，吉澤正則（国立天文台）
- P 2 ハイビジョンテレビによる日食解析：佐々木俊英，佐藤 巧，日江井榮二郎（明星大），NHK 技術陣
- P 3 有限振幅の磁気音波の変調不安定とコロナ加熱：伏木敏朗^{1,2}，坂井純一¹，（¹富山大工，²北電情報システムサービス）
- P 4 ようこう軟 X 線 DATA で実証された太陽面の QUADRUPOLE 領域：森 洋介（宮城教育大），斎藤尚生（東北大理），常田佐久（東大理），H. HUDSON（ハワイ大），小塚幸央，渡辺 堯（名大 STE 研）
- P 5 太陽軟 X 線 CORONA の構造とその地球への影響——いそぎんちゃく，および蝶型構造——：高橋忠利，斎藤尚生（東北大理），柴田一成（東大理），南 繁行（阪市大工），森 洋介（宮城教大）
- P 6 2.8 GHz における太陽電波観測装置の開発：磯辺 武，近藤哲朗，猪木誠二，西川 淳，秋岡真樹（通信総研平磯）
- P 7 極域白斑の緯度による分布：小原聡子，若林聡子，岡下のぶえ，大谷 玲，左近リベカ（自由学園），入江 誠，桜井 隆（国立天文台）
- P 8 活動的アルゴル系 RZ Cas の主極小のモニター測光：鳴沢真也，中村泰久（福島大教），尾久土正己（兵庫県立西はりま天文台）
- P 9 捕捉動径振動を有する相対論的降着円盤の光度変化：金子和恵，福江 純（大阪教育大），山田龍也（大阪大）
- P 10 堂平における特異炭素星の光電測光——BM Gem, EU And, V778 Cyg——：佐藤英男（東大理天セ），西城恵一（国立科学博物館），中田好一（東大理天セ）
- P 11 Nova Cygni 1992 の分光観測 I：乗本祐慈¹，山崎篤磨²，前原英夫¹（¹国立天文台，²防衛大）
- P 12 スイフト=タトル彗星のスパイラル状ダスト・ジェット：吉田重臣，青木 勉，征矢野隆夫，樽沢賢一，W. van Driel，浜部 勝，市川 隆（木曾観測所），渡部潤一（国立天文台），若松謙一（岐阜大）
- P 13 小惑星 Toutatis (4179) および 1992 YG 3 の CCD 測光：朝倉義房（中央大物理），中村 士，佐々木五郎（国立天文台），吉田重臣（東大理）
- P 14 平磯 H α 望遠鏡の観測システムの現状と観測例：猪木誠二，秋岡真樹，西川 淳，磯辺 武，近藤哲朗（通信総研平磯）
- P 15 パソコン版画像処理ソフト「西はりまイメージ」：時政典孝（兵庫県立西はりま天文台）
- P 16 「IRAF クックブック」第 2 版：浜部 勝（東大理），市川伸一（国立天文台），太田耕司（京大理），他「天文情報処理研究会」
- P 17 汎用冷却 CCD カメラシステムを用いた天体観測：橋本 修，前島慎次，和田 仁（成蹊大工），ハキム.L.マサラン（東大理），山崎篤磨（防衛大）
- P 18 ntp サーバー用カウン回路の製作：久保浩一，福島登志夫，小笠原隆亮，鈴木駿策，松田 浩，大橋正健，山崎利孝（国立天文台），大野浩之*（東工大），鈴木茂哉*（㈱フォアチューン），山口 英*（奈良先端科学技術大学院大）*計算機科学者グループ WIDE のメンバー
- P 19 AOS 方式ミリ秒パルスサータイミング観測装置～二次元掃引方式～：関戸 衛，今江理人，花土ゆう子（通信総研鹿島）
- P 20 着々と進む「すばる」の山頂工事：野口 猛，宮下暁彦，沖田喜一，すばるプロジェクト室（国立天文台）
- P 21 FFT 型電波干渉計によるキューサーの試験観測：小林寛美，中島潤一，乙部英一郎，渡辺直企，荒蒔義孝，齋藤友博，田中尚樹，星川知之（早大理工），大師堂経明（早大教育），遊馬邦之（草加高校），西堀一彦（SONY）
- P 22 早稲田における干渉電波とその対策：齋藤友博，乙部英一郎（早大理工），大師堂経明（早大教育），阿部安広，武井健寿（日本通信機）
- P 23 早稲田干渉計自動観測システムの開発：中島潤一，乙部英一郎，渡辺直企，田中尚樹，齋藤博之，小林寛美，荒蒔義孝，星川知之（早大理工），遊馬邦之（草加高校），大師堂経明（早大教育）
- P 24 早稲田大学 FFT 型電波干渉計における位相誤差のビームへの影響：荒蒔義孝，中島潤一，乙部英一郎，渡辺直企，小林寛美，齋藤友博，田中尚樹，星川知之（早大理工），大師堂経明（早大教育），遊馬邦之（草加高校），西堀一彦（SONY）
- P 25 簡単な電波望遠鏡によるフラックス密度の測定：川嶋健治，北本俊二，江越 航，藤沢武孝，西村憲二（阪大理）
- P 26 はくちょう座分子雲 L 1139 の CO 観測：岡辺章広，内藤茂樹，沢 武文（愛知教育大），土橋一仁（大阪府立大），福井康雄（名大理）
- P 27 広視野 CCD カメラによる広がった微光天体の検出：鈴木秀實，富田良雄，大谷 浩（京大理）
- P 28 LPQ は BLAZAR でない？：奥平敦也（京大理）
- P 29 木曾紫外超過銀河のカタログと統計：高瀬文志郎（国学院大），宮内良子（国立天文台）

- P 30 銀河内元素合成の解析解：有本信雄（東大理天文センター），石丸友里（東大理）
- P 31 Subcluster の衝突による銀河団の形成：橋 祐一（日立東北ソフトウェア），土佐 誠（東北大理）
- P 32 日本の天文学者の系図：黒川竜男，福江 純（大阪教育大）
- P 33 市街光の実態調査（イメージスキャナによる測光）：毛利勝廣¹，香西洋樹²，鈴木雅夫¹，服部完治¹，服部俊二¹，永田宣男¹，北原政子¹，山田 卓³，度會英教⁴，笠原次郎⁴，下田寿志⁴（¹名古屋科学館，²国立天文台，³元名古屋科学館，⁴名大工，⁵名大理）
- P 34 宇宙を学べる大学はこんなにある！：沢 武文（愛知教育大）
- P 35 浅野家所蔵「天文方渋川家文書」について：神田 泰，伊藤節子，中村 士，森本雅樹（国立天文台）
- P 36 美星天文台の現況：綾仁一哉，大島 修，清水 実（美星天文台），田辺健茲（岡山理大），法月惣次郎（法月技研），胡 寧生（南京天文儀器研製中心），小暮智一



- ① 横浜線相模原駅下車 バス上溝行
 直通…市民会館前下車
 富士見経由…市役所前下車
- ② 小田急線相模大野駅下車
 バス JR 相模原駅行…警察署前下車
 （鶺野森経由）
- ※：けやき会館（懇親会々場）